

# かわら版

今回は、造形作家鈴木斉さんに『流木アート展』について、お話を伺いました。



(かわら版 QR コード)



市民の会展示部会令和3年度事業

「**ヒラキヒミ 2022 鈴木斉の流木アート ～森と海からのメッセージ～**」

会期 令和4年2月17日(木)～27日(日)

会場 ゆとろぎ展示室



## まず、タイトルの『HILAKIHIMI (ヒラキヒミ)』の意味は？

グリーンランドのポーライヌイットの言葉で、「自然の聲に耳をかたむけよ！」という意味です。以前NHKの番組で北極海沿岸のイヌイットを特集した中で、猟に出かける時、村の長老が若者たちに向けて声掛けしていた言葉です。短い会話の中にとっても深い意味合いを持っている言葉として心に残り、それ以来制作のメインテーマとして、大切にしています。

## 『森と海からのメッセージ』と題したのは、どんな思いからですか？

私が素材としている流木は、様々な海の浜辺から拾って来たものです。どこの場所から流れ出たものか？(日本の山から?海の方この島々から?日本海の方この大陸から?)どれほどの時間海を漂って来たのか?どんな風景を見て来たのか?流れ着いたのはどんな日?それを想像することは、地球規模の自然の流れに触れ、広く考えると様々な環境問題や3.11のできごとにまでつながっていきます。この会場で流木アートに触れる機会が、『自然の時間』を想像するきっかけになってくれればと思っています。



## なぜ『流木』を素材にしようと思ったのですか？

もう20数年前でしょうか、自然との関わりを大切に考えていた時写真家・星野道夫の『旅をする木』という本に出会いました。その文章の中で「森に生まれた樹が川から海へと流れ出し、海流に乗って長い間漂った後、ある日浜辺に流れ着き・・・最後は焚火にくべられ、燃えて気体となって空へと昇っていく、という一節がありました。その流木の『悠久の旅』を想像させる文章に魅せられ流木との出会いを大切に考えるようになりました。



## ところで、作品の素材となる『流木』はどのようにして集めているのですか？

様々な浜辺に出向きます。最も早くから通っているのは「静岡県沼津市の千本浜」、更に「新潟県上越市から糸魚川市にかけの浜」、時には「千葉県君津市の富津岬の南側の浜」、最近は「静岡県富士川河口の浜」などに通っています。思えば幼少時、故郷・八戸市の種差海岸での、貝殻や漂流物を拾い集めた時の楽しさが体に残っているのかもしれませんが。

## 『流木アート展』ではどんな作品があるのですか？

ここ1、2年の間に制作し、都内のギャラリーでの個展や展覧会に出品して来た作品が中心です。入り口から奥に向かって床や壁面に、流木や自然素材を紹介するような展示にしています。一番手前の流木プールでは流木に自由に触って遊ぶことができます。

奥の壁面には、何やら不思議な文字のような作品が！メッセージを自由に読みといてください。角を曲がった左奥の床面や奥の空間には、流木のインスタレーションが展示されています。ギャラリーの左側には、壁面に囲まれた空間があります。今回のメインの作品となる、『彷徨える舟』と題したインスタレーションを展示しています。



会期中、作家によるワークショップやギャラリートークなどのイベントも予定されています。

ご来廊おまちしています！

(ワークショップ、ギャラリートークは事前申込となります。)

詳細は、ゆとろぎ TEL042-570-0707へお問い合わせください。)

### 鈴木齊氏略歴

1954年生れ 青森県八戸市出身

東京学芸大学大学院修了

展覧会に多数出品・個展の開催等

元中学校美術教師(最後は羽村第三中学校)

[詳細は展示室内掲示のプロフィールを参照ください]

(作品展会期中/令和4年2月17日(木)~27日(日)のみ掲示)

【ハケ岳の麓にあるアトリエでの制作風景】

## 「流木アート展」を企画した展示部会をご存じですか？

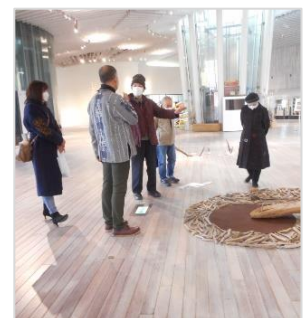
ゆとろぎ協働事業運営市民の会展示部会はゆとろぎ展示室での展示事業や、ゆとろぎを美術館にみだた展示などを企画運営しています。市民の皆様にご覧にアートを身近に感じていただき、アートの素晴らしさを知ってもらい、アートを通じて生涯学習に取り組んで頂くことを目的としています。

毎年7月にゆとろぎ全館を使用した展示「アート in はむら展」を実施しています。

鈴木齊さんも、毎年作品を出品していただいています。鈴木齊さんの作品を見るとさまざまな自然の音が聞こえる気がします。いつかはゆとろぎで作品展を開催したいと考えていました。今回、鈴木齊さんの作品展を実施できることになり部会員一同とてもうれしく楽しみにしています。

企画を通して、色々なジャンルの作家さんと直接お話しすることで学習効果を高めると共に、喜びを感じます。事業の企画運営のほか、作家さんのアトリエ訪問や美術館への研修など楽しい活動も多く、会員同士の親睦を図っています。

展示部会では仲間を募集しています。ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？



(作品展研修風景)